



NiceDataユーザーガイド

日本語版

Rev-1312

© 2014 Euro Plus d.o.o. All rights reserved.

Euro Plus d.o.o.
Poslovna cona A 2
SI-4208 Šenčur, Slovenia
tel.: +386 4 280 50 00
fax: +386 4 233 11 48
www.nicelabel.com
info@nicelabel.com

目次

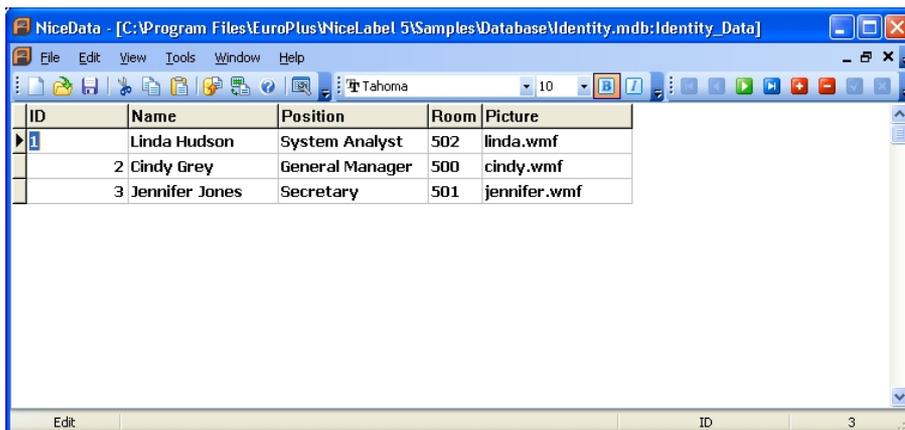
目次	2
NiceData へようこそ	3
メインウインドウ	4
ソフトウェアのカスタマイズ	5
ショートカットキー	6
ナビゲータツールバーを使う	7
文字ツールバーを使う	8
ツールボックスを使う	9
フィールドで使用可能なデータ型	10
インデックスの定義	11
テーブルデータの編集	12
編集モードを有効にする	13
データベースの再構築	14
コマンドラインオプション	14
オンラインサポート	16

NiceData へようこそ

NiceData は、データベースの作成と管理を行うアプリケーションです。プログラムが直接サポートするデータベース形式であれば、データベースソフトウェアのライセンスを必要とせずに作成、編集、管理を行うことができます。シンプルで必要十分な機能を持っているので、データベースソフトウェアを使うより快適で便利です。ラベルソフトウェアで印刷するデータだけではなく、他のシステムで運用するデータの管理にも適しています。

プログラムは、Paradox、dBase、Access、および ASCII ファイル形式を直接サポートしています。ODBC、OLE DB、または BDE インターフェイスを使って、データベースサーバーの管理を行うこともできます。

メインウインドウ



The screenshot shows the NicaData application window. The title bar reads "NicaData - [C:\Program Files\EuroPlus\NicaLabel 5\Samples\Database\Identity.mdb:Identity_Data]". The menu bar includes "File", "Edit", "View", "Tools", "Window", and "Help". The toolbar contains various icons for file operations and editing. The main area displays a table with the following data:

ID	Name	Position	Room	Picture
1	Linda Hudson	System Analyst	502	linda.wmf
2	Cindy Grey	General Manager	500	cindy.wmf
3	Jennifer Jones	Secretary	501	jennifer.wmf

The status bar at the bottom shows "Edit", "ID", and "3".

メインウインドウ

ソフトウェアのカスタマイズ

テーブル表示フォントを変更するには、以下の手順を実行します:

1. オプションメニューの **フォント** メニューコマンドを実行します
2. 使用するフォントを選択してください

メニューとツールバーを変更するには、以下の手順を実行します:

1. ツールメニューの **カスタマイズ** メニューコマンドを実行します
カスタマイズ ダイアログボックスが開きます
2. 希望する設定を行います
3. **OK** ボタンを押して、ダイアログボックスを閉じます

ノート:

ツールバーをドラッグすると、画面上の任意の位置に動かすことができます。

ショートカットキー

ショートカット	動作
Ctrl + M	全てのレコードを選択 他のアプリケーションにデータをコピーする場合などに使用します
最後のフィールド上での <Insert>、または <下矢印>	新規レコードの追加
<Ctrl> + <Delete>	選択レコードの削除
<F2>	選択フィールドの編集
<F8>	テーブル表示、レコード表示の切り替え
<F9>	編集モード、表示モードの切り替え

ナビゲータツールバーを使う

ツールボックスのナビゲーターバーアイコンをクリックすると、以下の機能を実行します。

ボタン	動作
	先頭レコードに移動
	前のレコードに移動
	次のレコードに移動
	最後のレコードに移動
	レコードの追加
	レコードの削除
	変更の確定
	変更の取り消し

文字ツールバーを使う

ツールボックスの文字ツールバーアイコンをクリックすると、以下の機能を実行します。

アイコン	動作
	テーブルデータの表示フォントを変更
	フォントサイズを選択
	フォントの強調表示
	フォントの斜体表示

ツールボックスを使う

ツールボックスのアイコンをクリックすると、以下の機能を実行します。

アイコン	動作
	データベースの新規作成
	データベースを開く
	データベースを保存
	クリップボードへ切り取り
	クリップボードへ複写
	クリップボードから貼り付け
	テーブルレポートの作成
	テーブルレコード表示の切り替え
	ヘルプファイルを開く
	テーブルの再構築

フィールドで使用可能なデータ型

フィールドで使用可能なデータ型は以下の通りです:

- A または C - 英数字型
- N - 浮動小数点型
- S - 短い符号付整数型。-32768 から 32767 まで
- I - 長い符号付整数型。Paradox では 32 ビット符号付整数で、-2147483648 から 2147483647 まで (符号桁を除いて 2 の 31 乗ビット) です。短い符号付整数型より多くのスペースを必要とします
- L - 論理型。真、または偽の 2 値を取ります
- D - 日付型
- T - 時間型
- @ - タイムスタンプ

インデックスの定義

データベースにインデックスを定義するには、以下の手順を実行します:

ノート:

テキスト (.TXT, .CSV) データベースは、インデックスを定義できません。MS Access、Paradox、または dBase でのみ可能です。

1. データベーステーブルを開きます
2. オプションメニューの再構築 メニューコマンドを実行します

ノート:

ツールボックスの  アイコンをクリックしても同じです。

3. インデックス タブを開きます
4. 追加 ボタンを押してください
5. インデックスを追加したいフィールドを テーブルのフィールド 一覧 から選択します
6.  ボタンを押して、インデックスフィールド ボックスに追加します
7. 保存 ボタンを押してください
8. インデックスに名前を付けます。既定値をそのまま利用することができます
9. OK ボタンを押してください
10. 再度 OK ボタンを押して、インデックス タブを閉じます

Paradox テーブルの留意点:

セカンダリインデックスを追加するには、プライマリインデックスを定義しなければいけません。

以下の手順を実行します:

1. データベーステーブルを開きます
2. オプションメニューの再構築 メニューコマンドを実行します

ノート:

ツールボックスの  アイコンをクリックしても同じです。

3. フィールド タブを開きます
4. プライマリインデックスを定義するフィールドを選択してください
5. インデックス領域をダブルクリックします。
* 文字が表示され、プライマリインデックスフィールドを表示します
6. 前項目のステップ 3 から操作してください

dBase テーブルの留意点:

dBase は複数のインデックスを定義できません。

テーブルデータの編集

テーブルを読み書きモードで開くと、データを編集することができます。読み書きモードを使用するには、レコードデータを表示しない表示モードではなく、データモードに表示設定してください。

テーブルのデータを編集するには、以下の手順を実行します：

1. データを編集したいフィールドにカーソルを移動します。現在のレコードは、強調表示されています
2. データを変更したいレコードのフィールドで、データを編集します

ノート：

データを変更できないときは、他のアプリケーションがテーブルを開いていないか確認してください。また、アプリケーションを編集モードにして、編集を許可してください。

3. 現在のレコードを削除するには、<Ctrl> + <Delete> キーを押します

ノート：

データベースナビゲータツールバーの  アイコンをクリックしても同じです。

4. 新しいレコードを追加するには、<Insert> キー、または <下矢印> キーを押してください

ノート：

データベースナビゲータツールバーの  アイコンをクリックしても同じです。明示的にソート命令を伴わない限り、データベースエンジンが検索結果を返却する順序は任意です。次回以降も現在表示されている順序が保たれている保障はありません。

編集モードを有効にする

データベースレコードがグレー表示されているときは、データベースを **表示** モードで開いています。表示モードでは、レコードを編集することができません。

編集モードを有効にするには、以下の手順を実行します：

1. 表示メニューの **編集** メニューコマンドを実行します

ノート：

<F9> キーを押しても同じです。

2. 編集モードを有効にすると、レコードを直接編集できるようになります

データベースの再構築

このメニューコマンドは、データベーステーブルの論理構造を変更します。

データベースの再構築を行うには、以下の手順を実行します：

1. データベーステーブルを開きます
2. オプションメニューの再構築 メニューコマンドを実行します

ノート：

ツールボックスの  アイコンをクリックしても同じです。

3. フィールド タブでフィールド定義を変更します
4. インデックス タブでインデックス定義を変更します
5. OK 押して、ダイアログボックスを閉じます

コマンドラインオプション

アプリケーションを実行するとき、追加のコマンドラインオプションを渡すことができます。

使用可能なコマンドラインオプションは、以下の通りです：

テーブルの初期化：

-F <出カテーブル> <入カテーブル> [/Saaa] [/Tbbb]

出カテーブルのレコードを入カテーブルのレコードデータで初期化します。

/Saaa	レコード長の検証。aaa は、レコード長を意味する正数です。
/Tbbb	レコードの読み飛ばし。bbb は、読み飛ばすレコード数を意味する正数です。

テーブルの追加：

-A <出カテーブル> <入カテーブル> [/Saaa] [/Tbbb]

入カテーブルのレコードを出カテーブルに追加します。

/Saaa	レコード長の検証。aaa は、レコード長を意味する正数です。
/Tbbb	レコードの読み飛ばし。bbb は、読み飛ばすレコード数を意味する正数です。

テーブルの追加更新：

-AU <出カテーブル> <入カテーブル> [/Saaa] [/Tbbb]

入カテーブルのレコードを出カテーブルに追加します。同じ値のレコードは更新します。

/Saaa	レコード長の検証。aaa は、レコード長を意味する正数です。
-------	--------------------------------

/T bbb	レコードの読み飛ばし。bbb は、読み飛ばすレコード数を意味する正数です。
-----------	---------------------------------------

テーブルを開く:

-D <テーブル名>

テーブルを空にする:

-E <テーブル名>

テーブルを空にします。-EA のように A コマンドを伴った場合は、テーブルを空にしてからデータを追加します。

テーブル表示モードで起動:

-G

レコード表示モードで起動:

-L

アプリケーションの終了:

-Q

処理を完了すると直ちに終了します。

エラー表示を抑止:

-E

例:

NDATA6.EXE -F ARTICLES.DBF IMPORT.TXT -Q

このコマンドは、ARTICLES.DBF dBase ファイルに IMPORT.TXT のデータを追加します。インデックスは再作成されません。処理が完了すると、アプリケーションは直ちに終了します。

オンラインサポート

このマニュアルおよびドキュメントの内容は、複数の製品で共通となっています。内容については、お使いの製品に合わせて読み替えてください。国および地域によって、取り扱い製品、名称、機能、バージョン、およびサポート体制には違いがあります。最新の情報は、製品の Web ページ、または製品カタログを参照してください。取り扱いの無い製品のユーザーサポートはお受けできません。

全ての製品に関する共通の情報サイトは、www.nicelabel.com です。プログラムの最新バージョン、アップデート、問題に対する対処、およびよくある質問 (FAQ) は、このサイトをご覧ください。

より詳しい情報は、以下を参照してください:

- サポート FAQ: www.nicelabel.com/Support/FAQ
- NiceLabel Support: <http://www.nicelabel.com/support>
- NiceLabel 入門: www.nicelabel.com/Learning-center/Tutorials
- NiceLabel フォーラム: forums.nicelabel.com